

冒険王だよりは、冒険王での子ども達の活躍をご家庭にお伝えします。ご家庭で、どんなことが楽しかったか、苦労したかなどについて、お子さんとお話してみてください。

第2回目の冒険王「地下のワスレモノⅢ」が7月20日（土）に生涯学習館で開催されました。それぞれ懐中電灯を手に。33名が楽しく活動をしました。

☆きもだめし恒例の怖〜い話

最初に、職員から生涯学習館にまつわる怖い話がありました。始まる前はワクワクしていた子どもたちですが、話を聞いた後は「行きたくない!」と言い出した子が続出…急きょ班の編成を変えて実施することとなりました。怖がりながらも、勇気を出して呪いに挑む子どもたち。でもね、ここからが本番だよ…。



☆「呪いの人形」と「ミッション」

19××年3月、足寄町●●学校勤務の教職員X氏が行方不明となり、本別警察署に捜索願が出された。

しかし4月■日、X氏は生涯学習館において遺体で発見される。発見当時、遺体のそばには人形が置いてあり、X氏が「2月に里見が丘の森で不気味な人形を拾った」と話していたのを同僚が覚えていたという。その後人形は本別警察署に保管されたが、事件に関わっていた警察官が次々と失そう。事態を重く見た本別警察署長は高名な呪術師に依頼し、人形を生涯学習館の地下に封印した。

しかし今、YouTuber「L」の軽はずみな行動により封印がとかれ、呪いが外に出ようとしている…。

みんなで協力し、再び人形を封印しよう!



☆いよいよきもだめし開始!

4、5名で編成した全7班が、順番に生涯学習館を回ります。暗幕がかかって薄暗い館内では、階段のステンドグラスも不気味に見えてきます。

館内を回って恐ろしい絵のシールを集め、体育館に封印のお札を取りに行きます。不気味な文字の書かれたお札に思わず「キャー!」と悲鳴をあげる子どももいました。それでもみんなで勇気を振りしぼり、励ましあいながら人形に封印のお札を貼りました。ミッション完了!

しかし、封印をして体育館から出ようとすると、ステージの上から怪物が走ってきます! 必死になって体育館から出た子どもたちは、安どの表情を浮かべていました。

☆きもだめし終了!

あんなに怖い思いをしたのに、「二回目も行きたい!」という声がチラホラ。夏の風物詩「きもだめし」を、子どもたちは存分に楽しんだようでした。

それにしても…いろんな謎が残りますね。

呪いの人形はどうなったのか、あの怪物は何だったのか…。おっと、これ以上書くと大変なことになっちゃうので止めておきます。

「さわらぬ神にたたりなし」

みんなも気を付けてね…。

